

今年度最後の月となりました。

新宿区では今年度も、読書の意図的な指導と各教科での学校図書館活用を推進してまいりました。

学校図書館は、「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能を生かし、「教育課程の展開に寄与する」「健全な教養を育成する」教育設備です。学校図書館業務の委託業者には、学校図書館の整備、本の紹介、本や資料についての相談、教育活動に参考となる情報の発信、資料準備、授業補助、オリエンテーション、その他にもさまざまな形で先生方の教育活動を支援してもらっています。

次年度も読書活動と学校図書館活用を各教科等の指導に生かしていただくよう、お願いいたします。

探究的な学習で情報活用能力の育成を

探究的な学習で育成する情報活用能力は、「課題を設定する力」「課題を解決するための情報源（メディア）を利用する力」「情報を取り出し、評価・選択する力」「分かったことから考察し、まとめ、情報発信する力」など、探究のプロセスに沿った学び方の指導が必要になります。

今までは、「書かれていることを理解する」「読んだことや体験したことをまとめる」ことに重点が置かれてきたのではないのでしょうか。

探究のプロセス(例)

課題を設定する

「課題設定」では、気づきや疑問を課題にまで深化させること、課題設定の理由を明確にすることが大切です。調べるための資料はあるのか、自分の今の力で調べることができるのか、などを吟味させることも必要でしょう。

課題を解決するための情報源を選択し、利用する

次に、課題を解決するためには、どのように調べればよいのか、計画を立てます。中学生なら、先行研究を調べたり、どんな手段で調べたらよいのか、情報源（メディア）を選ぶ力も必要です。

情報を取り出し、評価し、選択する

その上で、本やインターネット上に書かれていることを読み取り、必要な事項を情報記録カードなどにメモし、取り出した情報を評価し、選択し、調べて分かったことなどを考察します。

考察し、まとめ、情報発信する

レポートや新聞などにまとめるときは、課題設定の理由や資料リストを書かせます。引用の仕方や著作権について指導し、他人の考えと自分の考えを区別することも大切です。

新学習指導要領国語編を参考に、各学年でどのような指導をすればよいのか、計画を立ててください。

年間計画の参考に

来年度計画を立てるときに、探究的な学習に必要な調べ方の指導計画を国語・特別活動・総合的な学習の時間で系統的に計画しましょう。新学習指導要領国語編や「しんじゅく学校図書館」に掲載の「探究型の学習における発達段階に応じた学習の手だて（案）」などを参考にしてください。

例えば、以下のような項目です。そして、各教科等で実際に使えるようにすることが大切です。

- ・ 百科事典、図鑑、年鑑、国語辞典、漢字辞典（漢和辞典）などの使い方
- ・ 図書館の本の並び方、探し方
- ・ 著作権、引用の仕方、資料リストの作り方
- ・ インターネット情報の利用の仕方、インタビューの仕方、新聞の利用
- ・ 資料の比較、評価、選択
- ・ レポートの書き方 など